

Media release

フォンテラジャパン、サステナビリティレポート日本語版を発行

ニュージーランド(NZ)乳業最大手フォンテラの日本法人であるフォンテラジャパン株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：斎藤 康博)は、この度、フォンテラのサステナビリティレポートで初めての日本語版を発行しました。このレポートは、「持続可能な開発目標 (SDGs)」など世界の共通目標を踏まえ、フォンテラがグローバルで持続可能 (サステナブル) な社会の実現に貢献していくための方針や取り組みをまとめたものです。

新興国の経済発展などに伴って、2030年に国際生乳需要は、2018年に比べて30%以上増加すると予測されています*1。そのような中、フォンテラでは2019年9月にサステナビリティを中核とする新たな戦略を策定しました。このレポートでは、ニュージーランドが地球気温上昇を1.5℃以内に抑えるという公約を果たし、気候効率の高い酪農生産国としてリーダーシップを維持するのに寄与するための具体的なグローバル目標や施策を立案し実行していく、フォンテラの姿勢や考え方を掲載しています。

2019 サステナビリティレポート | フォンテラ酪農協同組合

<https://view.publitas.com/fonterra-japan-limited/sasutenabiriteirepoto2019-huonteraluo-nong-xie-tong-zu-he/>



フォンテラ酪農協同組合 CEO Miles Hurrell は、これまでの成果は喜ばしく、将来に向けていくつかの良い基盤を築いていますが、まだ多くの取り組みが必要だと述べています。

「2019年のサステナビリティレポートは、私たちのビジネスの中核であるサステナビリティに向けた重要なステップです。」

「フォンテラにとって厳しい年であったことを考えると、サステナビリティの取り組みを中断することは容易でしたが、実際には進歩を続けてきました。私たちは、サステナビリティの重要性への取り組みを強調し、気候変動、石炭、廃棄物、サステナブルな包装にさらに力を入れて取り組む計画を固めました。」

「このレポートは、ニュージーランド人として私たちが将来の世代のためにどのような世界を残したいか明らかにし、その目標に対する私たちの取り組みを示すものです。」

「人、動物、そして私たちの環境に配慮した方法で人々の栄養源になる製品を生産し、地域社会に価値をもたらす、ニュージーランドの酪農協同組合の一員となることを重視しています。」

【サステナビリティレポート ハイライト】

健康な人々 (Healthy People) : 私たちは、人に配慮し、社会に良い影響を与えることが出来るよう取り組んでいます。

- 公衆衛生の課題に対応するため、製品の栄養価を高め、健康的な食生活を促進する。
- 従業員が前向きに仕事に取り組めるよう、健康的で安全な労働環境を推進し、高い技術を持つ活動的で多様な人材を育成する。
- 地域社会の健康を向上させるため、正しい方法で事業を行い、得意分野の知識を共有し、レジリエント（回復力や復元力）で持続可能な地域社会を築くのに貢献する。

健全な環境 (Healthy Environment) : 私たちは農業と社会のための健全な環境の実現に向け取り組んでいます。

- 陸地と水域の健全性と生物多様性を改善するため、再生志向のマインドセットのもと、酪農や製品製造による影響を低減し、周囲と協力しながら取り組む。
- 低炭素社会への移行をリードするため、サプライチェーンから排出される温室効果ガスの削減に向けた技術革新やインフラに投資する。
- 増大する栄養ニーズを満たすため、生産性を向上させ、農場から消費者までの間に発生する廃棄物を最小限に抑える。

健全なビジネス (Healthy Business) : 私たちは持続可能なビジネスの実現に向け取り組んでいます

- 酪農家の健康的で持続可能な生活を支えるため、生乳の一滴に至るまで最大限の価値を還元する。
- 強固な協同組合を築くため、投資を含む事業活動において長期的価値を実現する。
- お客様や消費者の変化するニーズに応えるため、他にはない強みを活かし、技術革新により皆にとって持続可能な価値を創造する。

【主なグローバル目標】

健康な人々 (Healthy People)

- 世界水準の労働災害予防
- 世界水準の従業員のエンゲージメント
- 2019年：主要な食品安全品質基準の認証を全拠点で取得
- 2022年：上級管理職の半数に女性を登用
- 2025年：製品ポートフォリオの全製品で、承認された栄養ガイドラインの基準を達成

健康な人々 (Healthy People)

- 2025年：ニュージーランドの全農場で農場環境プラン（FEP）を策定
- 2025年：すべてのパッケージをリサイクル・再利用・堆肥化可能に
- 2025年：埋立てに回される廃棄物ゼロを達成
- 2030年：製造活動における温室効果ガス排出量を30%削減
- 2030年：水ストレスを抱える地域の製造拠点での水使用量を30%削減

健全なビジネス (Healthy Business)

- 2022年：EBITDA 有利子負債倍率 2.5~3.5 倍
- 2024年：資本利益率 10%
- 2024年：1株当たり利益 50 NZ セント
- 2024年：フリーキャッシュフロー 10億 5,000万 NZドル

はじめに

フォンテラの アプローチ

持続可能な未来は、私たち協同組合の新たな戦略の中核であり、それは私たちが次世代のために長期的価値をいかにして創造するかを意味します。

新たな戦略では、サステナビリティを私たちの考え方と融合させ、行動方針としてトリプルボトムライン・アプローチを採用しています。2019年度は新しい年となり、新しい決断を求められました。それでもなお、私たちは引き続きサステナビリティの重要性を認識しています。このセクションではフォンテラのアプローチを簡単に説明し、次のセクションでは主要な目標に向けた達成状況を示します。進捗は十分とは言えないものの、当年度の進捗を継続できたのは喜ばしいことです。私たちは3つの包括的な目標を掲げており、本レポートの構成はそれを反映したものとなっています。

健康な人々

私たちは力を合わせて大切な人々を支え、社会にプラスの影響を与えています。

*He aha te mea nui o te ao.
He tāngata, he tāngata, he tāngata.*

何よりも大切なものは、
それは人々、人々、人々。

健全な環境

私たちは力を合わせて酪農と社会のための健全な環境づくりに取り組んでいます。

*Tiakiina te whenua i tēnei rā, hei oranga tangata
mō ngā rā e heke mai nei.*

今日わたった土地が、明日私たちが養ってくれる。

健全なビジネス

私たちは力を合わせて持続可能なビジネスを実現します。

Nā tō rourou, nā taku rourou ka ora ai te iwi.
あなたの食べ物をためたかこと私の食べ物をためたかをご合わせれば、皆の繁栄につながる。



健康な人々

- 公衆衛生の課題に対応するため、製品の栄養価を高め、健康的な食生活を促進する。
- 従業員が前向きに仕事に取り組めるよう、健康的で安全な労働環境を推進し、高い技術を持つ活動的で多様な人材を育成する。
- 地域社会の健康を向上させるため、正しい方法で事業を行い、得意分野の知識を共有し、レジリエントで持続可能な地域社会を築くのに貢献する。

2019年度の主な実績

- 負債率を世界水準に低減
- 星の数による健康レベル評価の対象商品をニュージーランドで販売する製品の92%に
- ニュージーランドにおける性別による賃金格差の割合は1%拡大したものの、依然として国内平均を大きく上回る

主なグローバル目標

- 世界水準の傷害予防
- 世界水準の従業員エンゲージメント
- 2019年：主要な食品安全品質基準の認証を全拠点で取得
- 2022年：上級管理職の半数に女性を登用
- 2025年：製品ポートフォリオの全製品で、承認された栄養ガイドラインの基準を達成

長期目標



健全な環境

- 陸地と水域の健全性と生物多様性を改善するため、再生志向のマインドセットのもと、酪農や製品製造による影響を低減し、周囲と協力しながら取り組む。
- 低炭素社会への移行をリードするため、サプライチェーンから排出される温室効果ガス削減に向けた技術革新やインフラに投資する。
- 増大する栄養ニーズを満たすため、生産性を向上させ、農場から消費者までの間に発生する廃棄物を最小限に抑える。

2019年度の主な実績

- ニュージーランドにあるフォンテラの農場の23%が今では農場環境プラン (FEP) を策定
- プライムウォーター拠点でバイオマス選給を稼働
- 水問題、パッケージ、固形廃棄物に関する新たな目標を設定

主なグローバル目標

- 2025年：ニュージーランドの全農場でFEPを策定
- 2025年：すべてのパッケージをリサイクル・再利用・増肥化可能に
- 2025年：埋立てに回される廃棄物ゼロを達成
- 2030年：製造活動における温室効果ガス排出量を30%削減
- 2030年：水ストレスを抱える地域の製造拠点での水使用量を30%削減

長期目標



健全なビジネス

- 酪農家の健康的で持続可能な生活を支えるため、生乳の一滴に至るまで最大限の価値を還元する。
- 強固な協同組合を築くため、投資を含む事業活動において長期的価値を実現する。
- お客様や消費者の変化するニーズに応えるため、他にはない強みを活かし、技術革新により皆にとって持続可能な価値を創造する。

2019年度の主な実績

- ニュージーランドの株主酪農家に対して100億NZドルの支払い
- 規程ある財務運営により、事業費と資本支出の低減、キャッシュフローの改善、債務の削減を達成
- 一過性の多額のマイナス項目により、6億5000万NZドルの純損失を計上

主なグローバル目標

- 2022年：EBITDA有利子負債比率 2.5~3.5倍
- 2024年：資本利益率 10%
- 2024年：1株当たり利益 50 NZセント
- 2024年：フリーキャッシュフロー 10億5,000万NZドル

長期目標



*1 出典：酪農乳業速報 2018年6月

*2 出典：IFCN Top 20 Milk Processor by milk intake, 2018

【フォンテラ(Fonterra)とは】

フォンテラは世界で5本の指に入る乳業メーカーであると共に、ニュージーランド最大の企業です。ニュージーランド国内においては、加入する酪農家約10,000戸が株主となっている酪農協同組合です。全世界の従業員数は約20,000名、売上高は日本円換算で、約1.5兆円(2018/2019会計年度)です。

フォンテラの生乳取扱量は、世界NO.2(2,370万トン^{*2})で、これは日本国内の総生乳生産量の約3倍の規模です。フォンテラはニュージーランドの生乳の85%を収集し、33のニュージーランドの製造拠点を通して、140カ国にのぼる国々に乳製品を輸出する世界最大の乳製品輸出企業です。また、ニュージーランドの他にオーストラリア、オランダ、スリランカ、マレーシア、インドネシア、サウジアラビア、チリ、ブラジル、ベネズエラ、エチオピアにも製造拠点を持っており、ニュージーランド、中国、マレーシア、スリランカ、チリの消費者・フードサービス向け乳製品主要カテゴリーにおけるリーディングカンパニーです。

フォンテラジャパン株式会社は、フォンテラの日本法人で、年間約14万トンの乳製品を輸入しています。日本での輸入シェアは、チーズ約30%、バター約50%、乳タンパク約40%を占めています。

【本リリースに関する問い合わせ】

フォンテラジャパン株式会社

担当：佐藤

TEL: 03-6737-1800